

神戸大学海洋政策科学部オープンキャンパス2026

「研究室訪問ツアー」

今年のオープンキャンパスでは、下記の6研究室を小グループに分かれて見学する「研究室訪問ツアー」を企画しています。

実施時間：①10:30~11:45 ②12:45~14:00

(①、②は移動時間15分を含みます。)

集合場所：総合学术交流棟1階 梅木Yホール (①10:30、②12:45集合)

参加定員：各コース 20名

※ 事前申込みが必要です。(先着順)

※ 事前申込み時に下記A・B・Cいずれかのコースを選択してご参加いただけます。

※ 「研究室訪問ツアー」と「海神丸船内見学」はどちらか一方のみ申込みいただけます。

※ 保護者の方はご同伴いただけませんので、あらかじめご了承ください。

研究室訪問ツアー Aコース(定員20名): 海洋基礎科学領域

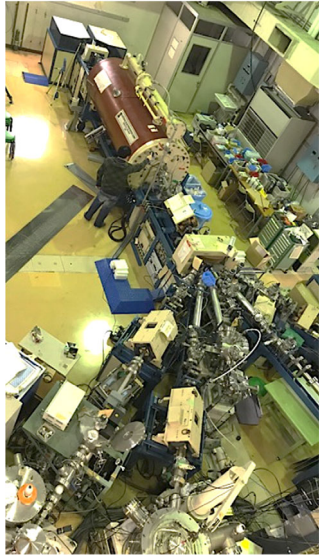
○ 分析化学研究室

私たちは、環境保全に役立つ新しい環境計測手法の開発研究、天然ポリフェノールの機能分析、環境に優しい化粧品の研究開発(機能分析ならびに効果の検証など)を行っています。光、電気、質量分析などを利用した化学分析法をはじめ、触感の数値化などの物性評価まで、幅広い研究に取り組んでいます。



○ 加速器・粒子線実験施設 TAcLKU

加速器・粒子線実験施設に設置されている静電加速器5SDH-2は様々なイオンを加速する装置です。試料表面の元素分析、試料へのイオン照射・注入、ガンマ線・中性子を発生させて検出器開発等の実験研究が行えます。本装置は特別に中性子が発生しても良い実験ができる数少ない小型の加速器で、固体内核反応試料中のヘリウム3検出等の実験が可能です。



(Tandem Accelerator Laboratory of Kobe University; TAcLKU)

研究室訪問ツアー Bコース(定員20名): 海洋応用科学領域・海技ライセンスコース機関学領域

○ 海上輸送システム科学研究室

船を運航するとき、海洋上の波浪によって「船が揺れる」「速度は低下する」「エンジンに負荷が増大する」など様々な現象が起きます。研究室では海洋波とはどのようなものか、船を使った実験例などを紹介します。



○ 船用機関プラントシミュレータ

大型船の機関プラントシステムをモデル化した教育装置です。授業や研究での活用を紹介します。



研究室訪問ツアー Cコース(定員20名): 海洋ガバナンス領域・海技ライセンスコース航海学領域

○ 物流管理学的研究室 (ロジスティクス政策科学分野)

港湾都市である神戸にある大学として、港湾を取り上げたいと思います。街づくりの一部として、港湾が計画されると同時に、物流活動の場としての機能も大きい。そこで、港湾機能について話題提供し、船舶が港湾施設を利用するスケジュール情報についても触れてもらいたいと思います。



○ 海事安全管理研究室

船舶運航に関わる様々なデータを活用することで、より安全な船舶運航を目指した研究をおこなっています。今回は神戸大学の練習船でも実際に使用されている自動衝突予防援助装置を用いて大阪湾の船舶状況の説明や研究での活用について紹介します。

